

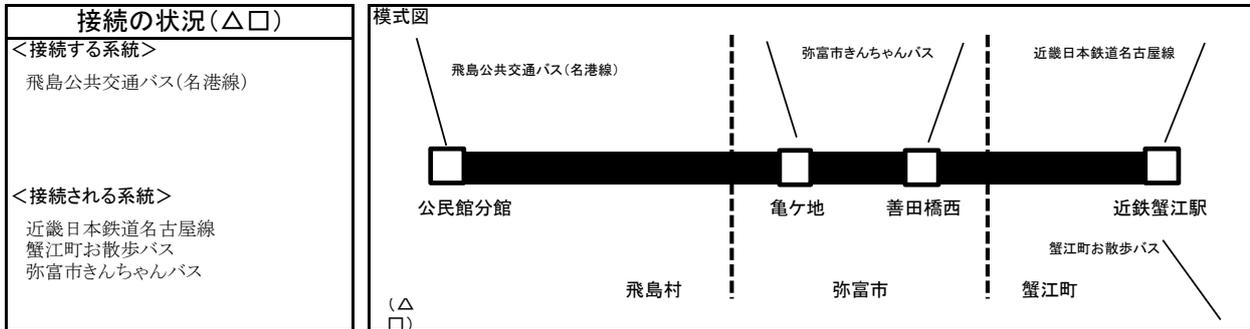
平成29補助年度 補助系統別事業評価票(蟹江線)

別紙2

1.補助系統の概要(△)

系統名	運営主体	運行事業者	区間	キロ程	運行回数	関係市町村
飛島公共交通バス(蟹江線)	飛島村地域公共交通活性化再生 法定協議会	三重交通(株)	近鉄蟹江駅前～近鉄蟹江駅前	往12.9km 復14.5km	16.7回	弥富市、蟹江町
細 系 統				km	回	
				km	回	
				km	回	

※「細系統」には、補助上同一系統とみなされている系統について、系統ごとの情報を記載(系統名、区間は他の系統と違いが分かるよう記載)



2.H29年度の運行状況

計画どおり運行されたか(△)	評価の基準	(参考数値) 主要指標の推移(△)																								
<p>評価</p> <p>計画どおりか。そうでない場合は理由</p> <p>A 計画どおり運行されている。</p>	<p>A → 事業計画どおりの運行回数が確保されている場合</p> <p>B → 車両故障等運行事業者の責に帰すべき事由により、運休(一部区間の運休を含む)が生じた場合</p> <p>C → 系統廃止に至る場合</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>108,633</td> <td>111,525</td> <td>123,688</td> <td>137,958</td> <td>143,830</td> </tr> <tr> <td>平均乗車密度</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>3.9</td> <td>4.3</td> <td>4.4</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>32.1</td> <td>32.1</td> <td>60.8</td> <td>71.3</td> <td>73.4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	利用者数(人)	108,633	111,525	123,688	137,958	143,830	平均乗車密度	2.2	2.2	3.9	4.3	4.4	輸送量	32.1	32.1	60.8	71.3	73.4
年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度																					
利用者数(人)	108,633	111,525	123,688	137,958	143,830																					
平均乗車密度	2.2	2.2	3.9	4.3	4.4																					
輸送量	32.1	32.1	60.8	71.3	73.4																					

目標・効果達成状況

評価	目標の達成状況(△)	運営主体の所見、理由分析、認識(△)	市町村の所見、理由分析、認識(□)
A	<p>目標</p> <p>132,000</p> <p>結果</p> <p>143,830</p> <p>特記事項</p> <p>H28.10～H29.9までの純粋な利用実績で算出</p>	<p>利用者数は前年度比108.9%となり、約1割の増加となった。</p> <p>年々利用者数は増加傾向にあり、H27.3末をもってコミュニティバスを廃止したことによる代替対策(増便及びダイヤ変更)の効果が出ていると考えている。</p>	<p>市町村名:蟹江町</p>
	<p>評価の基準</p> <p>A → 年間目標利用者数を達成できた場合</p> <p>B → 年間目標利用者数は達成できなかったものの、目標の半数以上の利用があった場合</p> <p>C → 年間利用者数が目標の半数に満たなかった場合</p>	<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名: 弥富市</p> <p>蟹江線は、当市から近鉄蟹江駅へのアクセス需要に対応する重要な路線である。きんちゃんバス全体の利用者数は前年度比108.1%となっており、そのうち蟹江線と一部バス停を共有する東部ルートの利用者数は前年度比112.0%となった。また、利用者アンケートでは、約半数の方が蟹江線との乗り継ぎができることを知っているものの、実際に乗り継ぎをしたことがある方は2.1%と、まだまだ少ない状況である。</p>	<p>市町村の所見、理由分析、認識(□)</p> <p>市町村名:</p>

複数市町村を跨ぐ系統としての役割

指標(市町村を跨いでの利用)	利用状況及び所見(運営主体)(△)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)	住民の利用状況(□)
<p>市町村を跨ぐ利用者数(△)</p> <p>11,900人/月</p> <p>全利用者に占める率(△)</p> <p>ほぼ100%</p> <p>特記事項</p> <p>乗降カウンター等が搭載されていないため推定値</p>	<p>近鉄蟹江駅からは飛島村及び弥富市への通勤手段として、飛島村内からは近鉄蟹江駅への移動手段(主に通勤通学)として利用されている。</p>	<p>市町村名:蟹江町</p> <p>鉄軌道のない飛島村への近鉄蟹江駅利用者への通勤・通学に寄与している。</p>	<p>市町村名:弥富市</p> <p>十四山地区住民を中心に、名古屋方面への通勤・通学や買い物等のために近鉄蟹江駅の利用があると考えられる。</p>	<p>市町村名:</p>

(参考数値・情報) その他、運行改善や利用促進に参考となる数値・情報

運営主体(断面輸送量、競合系統合算断面輸送量、主な停留所乗降者数等)(△)	沿線市町村(沿線の状況等、すべての沿線市町村一括記載)(□)
<p>特になし(各停留所の乗降客数調査は、法定協議会からの指示、または特段の指示がない場合は6月・10月・2月・3月に実施している。)</p>	<p>近鉄蟹江駅前広場整備が平成30年から着工予定である。(蟹江町)</p> <p>平成28年12月1日に、海南病院への乗り入れや蟹江警察署移転に伴う運行ルート変更を実施し、あわせて東部ルートと飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ利便性を考慮したダイヤ改正を実施している。(弥富市)</p>

